

「未来の京都創造研究事業」

成果報告会・交流会

日時 平成26年3月19日（水）18時～21時

場所 キャンパスプラザ京都 4階第3講義室（成果報告会）
（京都駅前） 2階ホール（交流会）

「未来の京都創造研究事業」は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力し、より実践的に政策や事業に反映するための調査・研究を行うとともに、若手研究者の発掘・育成とネットワーク形成を目指し、京都市と公益財団法人大学コンソーシアム京都が共同で実施している事業です。

このたび、今年度に行った4件の調査・研究テーマの成果を広く発信するとともに、大学や研究室の枠を超えた研究者同士の交流や研究者と市民、行政職員等の交流を図るため、成果報告会・交流会を下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

1. 成果報告会:18時～20時（1件当たり30分程度）

研究代表者	調査・研究テーマ	
柴田 昌三 (京都大学大学院地球環境学・教授)	指定課題	市民生活における 自然環境共生 の知見と身近な生物相の実態評価
大室 悦賀 (京都産業大学経営学部・准教授)	指定課題	学生参加型ビジネスコンペを利用した ソーシャルビジネス の育成・普及にかかわる実証研究
森重 幸子 (京都大学大学院工学研究科・研究員)	自由課題	幹線道路に隣接する 細街路 の都市計画上の課題 －「歴史細街路」の維持保全に向けて－
吉田 満梨 (立命館大学経営学部・准教授)	自由課題	和装関連市場 における新たなセグメントとその特性の分析

●指定課題…未来の京都づくりに向けて京都市が指定したテーマ ●自由課題…指定課題以外で未来の京都づくりに向けたテーマ

2. 交流会:20時～21時

研究者と市民、行政職員等との交流を深める場として、研究テーマごとに分かれて意見交換を行います。

研究分野に基づいた交流ができ、今後のネットワークにつながります

3. 参加方法（参加費無料）

- 成果報告会：どなたでも参加できます。事前申し込みも必要ありません。
- 交流会：どなたでも参加できますが、3月18日(火)までに以下のE-mailまたは電話でお申し込みください。

問い合わせ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 シンクタンク事業：水田、鳴海
E-mail:mirainokyo@consortium.or.jp Tel:075-708-5803

研究テーマの概要

指定課題

市民生活における自然環境共生の知見と身近な生物相の実態評価

京都大学大学院地球環境学堂・柴田教授

本研究では、緑地、水系、山麓という三つの領域を軸に現地調査、アンケート調査、ヒアリング調査などの手法を用いて、①街区単位での住宅庭、社寺林、街路樹などの緑地の総合評価、②河川における美化活動と生物相の関係性評価、③山麓の社寺庭園における野生動物との関連評価と参加型森林管理の現状評価、をそれぞれ行います。

これら三つの研究軸から示される課題や解決策を総合的に評価し、あわせて京都市の生物多様性地域戦略（仮称）の策定に貢献することを目指します。



指定課題

学生参加型ビジネスコンペを利用した ソーシャルビジネスの育成・普及にかかわる実証研究

京都産業大学経営学部・大室准教授

ソーシャルビジネスの育成・普及にかかわる三つの課題（①概念の認知度向上、②商品やサービスの開発、③ソーシャルプロダクツ（社会的課題を解決する商品）を消費する消費者の育成）の解決策を実証します。そのために、主に京都市内の大学生を対象にソーシャルプロダクツの普及にかかわるビジネスコンペやアンケート分析等を実施します。

研究結果から、ソーシャルビジネス育成・普及のための新しい手法や企業がソーシャルビジネスに踏み出す一歩となる条件の提示を目指します。



自由課題

幹線道路に隣接する細街路の都市計画上の課題 —「歴史細街路」の維持保全に向けて—

京都大学大学院工学研究科・森重研究員

都心の細街路は歴史都市の魅力の一つである一方、幹線道路沿いは建築物が高密度に建ち、経済活動を推進する地域とされています。また、幹線道路沿道地区内に細街路が存在する場合、極端に幅の異なる前面道路の状況のために高さ規制や容積率規制が大きく変化することから、細街路沿いの土地利用は不安定な状態におかれています。

本研究では都心の細街路、特に幹線道路沿道地区側にある細街路の実態を明らかにし、都市計画上の課題を整理した上で今後の施策のあるべき方向性を提示することを目指します。



自由課題

和装関連市場における新たなセグメントとその特性の分析

立命館大学経営学部・吉田准教授

京都の伝統産業である和装関連産業の今日の産業構造の変化を、新たに形成されている消費者の特徴と、それに影響を与える企業の戦略的行動の調査を通じて分析します。そのために、消費者や和装関連企業に対してインタビューやアンケートを行います。

これらにより、今日の和装関連産業における市場変化とそれに伴う市場機会を可視化し、関連事業者や産業育成の政策への示唆を導くことを目指します。

